

方針浸透力を強化する「トップ方針具現化研修」のご提案

新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言の再発令、出勤者の7割削減要請など、経営者にとって年頭から頭を悩まされる状況が続いています。さらには、ワクチンの普及遅れが指摘され、東京オリンピック中止の声も再び上がりはじめています。

いずれにしても、コロナ禍が長引く公算は大きく、それに対応する新たな来期方針を打ち出す経営者は少なくないでしょう。

特に、コロナ禍で今期の業績が芳しくない企業にとっては、まさに**企業存続をかけた方針**であり、来期開始と同時に方針具現化のスタートダッシュをかけなければなりません。

しかし、方針の具現化は簡単でなく、そもそも浸透すらしていないという企業は少なくありません（下記例）。

- ☒社員が方針の背景や中身を理解していない
- ☒管理者が本気になっていないので、その重要さを部下に伝えていない
- ☒自部門、自分の仕事に落とし込んでいないので、結局浸透しない

トップからの方針であるのに、なぜこのようなことになってしまうのでしょうか。それは、「**方針は命令である**」という本質を、社員が理解できていないからではないでしょうか。トップ方針を具現化するためには、社員が方針の本質を理解し、それを個々の業務に落とし込んだ行動を取らなければなりません。

そのため、来期方針のスタートダッシュを図るためには、今期中に社員の方針浸透力を強化することが必要不可欠です。

「どうしたら方針を浸透させることができるのか」「方針具現化をどうやって進めたらよいか」、そんなお悩みがございましたら、ぜひご相談ください。貴社の方針を実現するための研修をご提案します。

方針浸透力を強化する研修	
研修名	トップ方針具現化研修
対象者	部門責任者、管理者、現場リーダー、若手社員
概要	方針の本質理解と方針具現化策の策定（成果検証含む）

※各企業の個別事情に合わせたカリキュラム、運営方法（集合、WEB）によりご提案します。

ご興味・ご質問のある方、下記（QRコード・もしくは「問い合わせ」欄）までご連絡下さい。



> お問い合わせはこちら